

電子ブレーカー導入で年間250,000円以上の電気代削減 「導入メリットの大きさを実感した」



▲クリーニングとコインランドリーを併設した門真岸和田店



▲TOSIE製の洗濯乾燥機がメインの機械構成

昨今続く電気代の値上げ。電子ブレーカー業界最多(※同社調べ)、日本全国で250,000台の電子ブレーカーを販売し、様々な業種で電気代(基本料金)の削減を実現してきた(株)ネオ・コーポレーションにはコインランドリーオーナーから電気料金の削減に関する問い合わせも急増している。

◆電気代高騰はオーナーの悩み事の第1位?

大阪でクリーニングのフランチャイズ「ホワイト急便」を運営する(有)ホープクリーニング大阪(出井亨社長)はコインランドリーも営業しており、大阪府守口市の久保店で2021年3月にネオ・コーポレーションの電子ブレーカーを導入。実は以前より、別の店で他社の電子ブレーカーを導入しており、「入れると電気代が下がることは分かっていました」と出井社長は話す。今回は、たまたま同社の営業担当から案内されたことが導入のきっかけだった。

ネオ・コーポレーションの特長や電子ブレーカーによる電気代削減の流れについては後述するが、今回インタビューを行った門真岸和田店では電子ブレーカー導入後、基本料金が月20,916円削減できており、1年間で250,992円という金額になる。

「ホワイト急便を運営しているフランチャイジーの定例会議の場では、オーナー同士で電気代の話にもなりますが、同じような設備で電子ブレーカーを導入していない

他店の電気代を伺うと改めて導入メリットの大きさを実感しました」と出井社長は話す。

ネオ・コーポレーションには、導入後のアフターメンテナンスの部分で信頼を寄せており、今後開店予定の店でも、同社のブレーカーを採用して電気代の削減を図っていきたい意向を示していた。



▲出井亨社長

◆新規顧客の約半数は既存顧客からの紹介

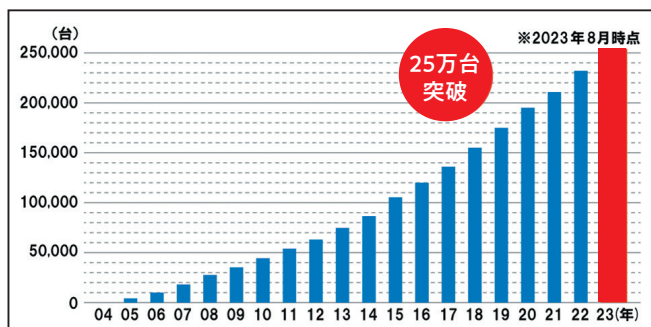
電子ブレーカーを取り扱う会社の多くは、電気代削減に向けた提案(調査)→電力会社への申請手続き(電気契約内容の変更)後、提携する施工業者が電子ブレーカーの設置工事、メンテナンスを行うケースが多いが、ネオ・コーポレーションは登録電気工事業者としての認可を受けており、社内の技術スタッフが対応する。これにより一貫通貫の顧客対応システムを実現。提案～設置～導入後のアフターメンテナンスまで自社にて一貫して顧客対応をすることで信頼を獲得し、新規顧客の約半数は既存顧客からの紹介だという。

◆容量変更・移転など5年以内なら無償対応

また、事前に提示した削減額と実際に設置した後の削

導入前		導入後		削減金額	
契約容量	基本料金	契約容量	基本料金	月々	年間
35kW	36,602円	15kW	15,686円	20,916円	250,992円

▲門真岸和田店の削減金額(表記税込)



▲電子ブレーカーは毎年右肩上がりに増加して、2023年に累積販売台数が250,000台を突破

減額に1円でも差異が生じた場合の申込み白紙撤回や、設置後の稼働状況の変化（例えばコインランドリーなら1台ずつあった水洗機と乾燥機を洗濯乾燥機1台に切り替え）による容量変更・移転を希望する場合には製品設置から5年以内であれば無償で対応する（ただし販売店経由で購入した場合は要・問い合わせ）など、顧客第一の体制を整えている。

コインランドリーに関しても豊富な事例があり、店舗の規模、機械の台数などに応じて落ちないブレーカーを提案し、安心・安全な店舗運営をサポートする。

◆併設店では併設事業の電気代も含めて削減

通常、電力会社との契約は「負荷設備契約」で締結されている。これは事業所内の全ての動力機器が常時フル稼働した場合の容量で計算された上での契約電力となっているが、コインランドリーの場合、実際に全てのランドリー機器が常時稼働し続けることはない。そこで、電子ブレーカーを用いて「主開閉器契約」に切り替えることで、実際に機器が稼働するそれぞれの時間で契約容量を決めることを可能にし、月々の基本料金を削減できる。

むしろコインランドリーでは、1日の中で機械が稼働していない時間の方が比較的長いことから「電子ブレーカーのご導入によって電気代が最も下がりやすい業種のひとつです」と同社は述べている。カフェ、洗車場、マンションなどの併設店の場合には、コインランドリーだけでなく併設事業の電気代も含めて削減できるという。

◆最大7割ほどの電気基本料金を削減

そもそも電気代の料金体系は主に家庭向けの「従量電灯」と事業者向けの「低圧電力」があり、それぞれ使用料金と基本料金の割合は異なるが、低圧電力の場合は基本料金が電気代の7～8割を占めているケースが多く、「使わなくても高く取られている」という認識を持っておいの方が良いと言える。

「低圧電力」で契約している事業者向けに、基本料金部分を削減することで電気料金全体を削減することに着

目したのが電子ブレーカーである。導入によって高圧電力から低圧電力に切り替えるケースも対応可能とのこと。同社のこれまでの実績から、コインランドリーでは最大で7割程（金額にすると月に2万円程度）の基本料金の削減が見込めるといふ。

製品のお見積り・問い合わせは TEL (0120-933-444)、メールアドレス (info@neo-corporation.co.jp)。



▲製品紹介サイト

◆おトクな電力「テラスネオでんき」の販売を開始

燃料価格の高騰等により、エンドユーザーの電気代の負担は大きくなっている。同社は、電子ブレーカーの導入によって電気代を削減できる低圧電力だけでなく、従量電灯の電気代も削減したいとの多くの顧客の声を受け、2023年8月より「テラスネオでんき」の販売を開始した。同社は、「各プランの料金は、お客様にメリットを感じて頂けるよう自信を持って設定しています。なので、お客様に安心してテラスネオでんきを選び、喜んで頂きたいとの思いから、万が一、他社のプランの方がメリットがあれば手数料ゼロで解約できるようにしています」と話す。

テラスネオでんきのお見積り・問い合わせは TEL (0800-300-8739)、メールアドレス (neo-terrace_info@neo-corporation.co.jp)。



▲テラスネオでんきのサイト



株式会社ネオ・コーポレーション

- 大阪本社 大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号 新大阪プライムタワー 19F
- 大阪本店 大阪府大阪市淀川区西中島4丁目3番24号 GATE TERRACE SHIN OSAKA 4F
- 仙台支店 宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目4番1号 アゼリアヒルズ6F
- 広島支店 広島県広島市中区中町8丁目18番 広島クリスタルプラザ7F
- 東京支店 東京都品川区大崎1丁目6番4号 新大崎勤業ビルディング9F
- 名古屋支店 愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1番1号 JPTタワー名古屋29F
- 九州支店 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目12番17号 五幸ビル4F
- 札幌支店 北海道札幌市中央区北5条西2丁目5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ14F
- 新潟支店 新潟県新潟市中央区西堀通六番町866番地 NEXT21 14F
- 鹿児島支店 鹿児島県鹿児島市山之口町3番31号 住友生命鹿児島ビル3F
- 大宮支店 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5 ソニックシティビル20F

【代表取締役】片田 俊輔

【お問い合わせ】0120-933-444

【事業内容】電気機械器具の企画・製造・卸・販売・施工、省エネ機器の企画・製造・卸・販売・施工、小売電気事業

【創業】平成11年11月1日

【資本金】3億6,351万円

【加盟団体】一般社団法人

日本経済団体連合会

【URL】https://www.neo-corporation.co.jp/

株式会社ネオ・コーポレーションは、東北楽天ゴールデンイーグルスのオフィシャルスポンサーです。

